

中体連・高体連の大会開催に係る保健所長会の御助言について

(令和4年6月10日、コロナ収束総合企画課まとめ)

※下線部は、前回からの修正、追記

<中体連大会の観客の制限について>

(1) 制限の基準について

- 「観客席に余裕をもたせた」「観戦スペース等を設定」という部分が曖昧であり、例えば「観客席がある場合は1人おきに」「スペースを設定する場合は、1メートルの間隔をあけて」とか具体的なルールを明示すべき。
(保健所の現場感として「マスク装着を全員が正しくできているわけではない」ので、「マスク着用であれば収容率100%で可」という考え方はリスクが高い。)
- 観戦可能な選手の家族の数は、二人までなど明確にした方がよい。
- 「屋内の団体競技」については、その時間帯に対戦している学校毎に入替え制と指定する方が実効性があるのではないか。(3年生の家族とだけ指定すると、ドア・窓周辺の人ばかりが密になり逆効果)

(2) 観客の感染対策について

- 観客の健康チェックの主体が不明なので、責任の所在を明確化した方がよい。
- 可能なら、現地での非接触式検温も推奨してはどうか。(残念ながら、注意書きを読まない方、正直に申告しない方もいるのが現実)

<大会会場への移動について(中体連・高体連共通)>

- 会場までの移動について、家族間で乗合をせず、公共交通機関を極力使用する。
- マイクロバス等で移動する場合は以下の対策を徹底する。
 - ①バス移動の際もマスク着用とする。
 - ②バスは外気循環とする。また時間を決めて窓を開けて換気する。
 - ③バス内での飲食は控える。やむを得ず行う際には黙食を徹底する、飲食後は、直ちにマスクを着用する。
 - ④顧問・監督・指導者および部員全員で①～③を徹底する。
- マイクロバス等で連日、長時間移動となる場合などは、日帰りでも感染拡大のリスクが高くなる。生徒の身体的負担も考慮し、宿泊も検討するなど、状況に応じて柔軟に対応する。宿泊する際は、感染防止対策を徹底する。(シングルルーム原則、黙食など)